

# イーストスプリング・ ジャパン中小型厳選 バリュー株ファンド

追加型投信／国内／株式

第2期(決算日 2016年7月27日)

作成対象期間(2015年7月28日～2016年7月27日)

第2期末(2016年7月27日)	
基準価額	11,160円
純資産総額	13,337百万円
(2015年7月28日～2016年7月27日)	
騰落率	△13.0%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド」は、2016年7月27日に決算を行いました。

当ファンドは、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている(上場予定を含みます。)中小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。

当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### <閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

### 【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

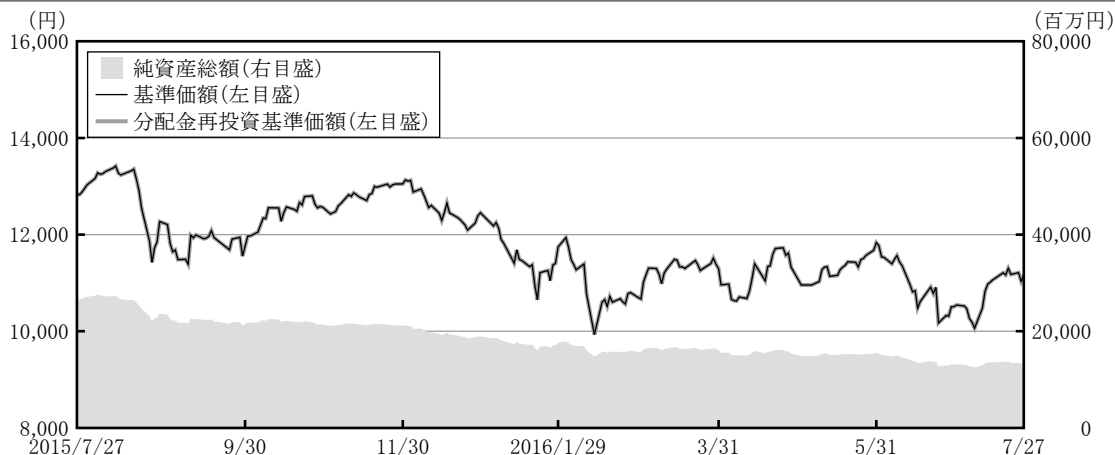
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 運用経過

### 基準価額等の推移について(第2期:2015年7月28日から2016年7月27日まで)



第2期首	12,821円
第2期末	11,160円(既払分配金0円)
騰落率	△13.0%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は期首比で下落しました。英国の欧州連合(EU)離脱問題を受けて世界的に経済成長見通しが引き下げられたことなどが重石となり、国内株式市場は下落しました。また、米国の利上げペース鈍化の見込みや、日銀が市場予想に反して緩和的スタンスを示さなかったことなどから円高が進行し、日本企業の業績見通しの下方修正が見られたことも株価の下落につながりました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2015/7/28 ～2016/7/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	224円	1.890%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,872円です。
(投信会社)	(115)	(0.972)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(103)	(0.864)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	21	0.180	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 21)	(0.180)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	2	0.019	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 1)	(0.011)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	247	2.089	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

決算日	2014/8/8 設定日	2015/7/27	2016/7/27
基準価額 (円)	10,000	12,821	11,160
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	28.2	△13.0
純資産総額 (百万円)	3,048	26,494	13,337

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定元本を記載しております。

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### ○国内株式市況

国内株式市場は、2015年8月に中国人民元の実質的な切り下げを受けた中国株式市場の急落を発端にリスク回避の動きが見られ、大きく調整しました。その後は中国経済に対する悲観的な見方が後退し、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)交渉の進展などが好感されて株価は反発し、8月の下落幅の大半を取り戻しました。しかし、2016年1月には中国株式市場の急落や、原油価格の下落による産油国の投資資金引き揚げ懸念などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり株安となりました。また2月には、米国経済指標が市場予想を下回り、米国の利上げペースが鈍化しそうだとの思惑から円高が進行したことで、株価はさらに下落しました。その後は、中国の金融緩和や米国経済指標の改善、原油価格の反発などが好感されて株価は上昇基調で推移しましたが、6月に日銀が市場予想に反して金融政策の現状維持を発表すると再び円高が進行し、株式市場も調整を余儀なくされました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の中小型株に投資を行いました。

### ○イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

主として日本の中小型株に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指しました。

当期中の投資行動は、株価の変動による割安度の変化などを考慮して、特殊化学メーカー、産業機械メーカーなどの株式の組入れを上げました。また、半導体・電子部品メーカー、事務用機器メーカーなどの株式を新たに組入れました。一方で、ドラッグストアチェーン運営会社、分譲住宅メーカーの持株会社などの株式を全売却しました。

パフォーマンスには、包装資材の製造・販売会社、ドラッグストアチェーン運営会社の株式保有が大きく貢献した一方、総合リース会社、海運会社の株式保有はマイナスに影響しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第2期	
	2015年7月28日 ～2016年7月27日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,831

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### ○当ファンド

引き続きイーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

### ○イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

国内株式市場はリスク選好度合いの変化によって正当なバリュエーション水準から株価が大きく乖離した状態にあり、その結果、割高銘柄と割安銘柄のバリュエーション格差はさらに拡がり、当運用戦略にとって絶好の投資機会であると考えています。私たちはテーマに基づく市場の選好を追いかけることは避け、割安に放置された銘柄の中からバリュエーションに基づく絶好の投資機会を見い出します。市場に反した行動を取る場合は、個別企業の収益トレンドを熟知したうえで、短期のニュースに反応する市場において、その変動によって生じた投資機会を活用することが重要だと考えます。

企業による自社株買いは2016年も継続しており、日本企業の配当性向は他の先進国と比べて未だ低い水準にとどまっていることから、今後は配当性向引き上げの余地は相対的に大きいとみています。当ファンドでは、そのような中から投資機会を見出し、規律あるバリュエーション手法に基づいて中長期的な信託財産の成長を目指します。

## お知らせ

○金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に基づき、信用リスク集中回避のための投資制限に関する文言または条項の追加など、投資信託約款に所要の変更を行いました。

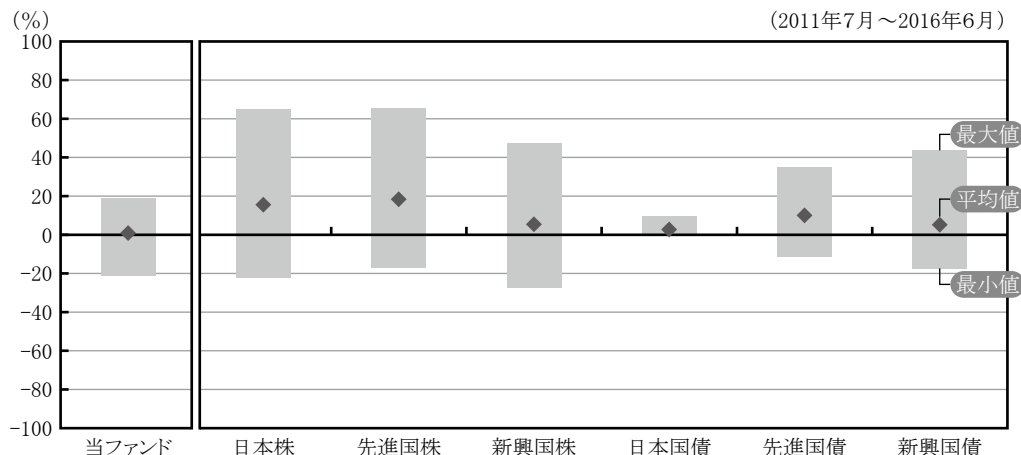
(変更日:2015年10月27日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2014年8月8日から2024年7月29日まで	
運用方針	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている(上場予定を含みます。)中小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている(上場予定を含みます。)中小型株を主要投資対象とします。
投資制限	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	<ul style="list-style-type: none"><li>・株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li><li>・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li><li>・外貨建資産への投資は、行いません。</li></ul>
	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"><li>・株式への投資割合には、制限を設けません。</li><li>・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li><li>・外貨建資産への投資は、行いません。</li></ul>
分配方針	毎決算時(毎年7月27日。休業日の場合は翌営業日。)に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	0.8	15.5	18.4	5.4	2.7	10.0	5.2
最大値	18.7	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-21.4	-22.0	-16.8	-27.5	0.4	-11.2	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2011年7月から2016年6月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。  
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは2014年8月8日に設定されたため、ファンドの年間騰落率は2015年8月以降のデータをもとに表示しています。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

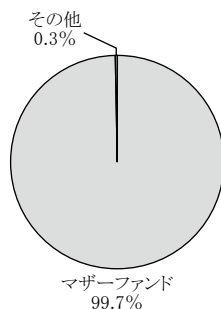
#### ○組入ファンド

(組入銘柄数: 1銘柄)

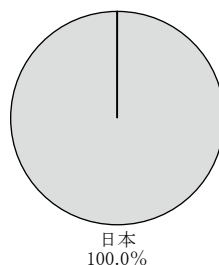
ファンド名	第2期末 2016年7月27日
イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	99.7%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

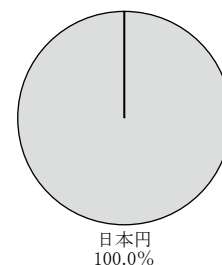
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	第2期末 2016年7月27日
純資産総額	13,337,621,198円
受益権総口数	11,950,813,701口
1万口当たり基準価額	11,160円

\* 当期中において追加設定元本額は1,623,315,498円、一部解約元本額は10,337,345,766円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

(計算期間 2015年7月28日～2016年7月27日)

#### ○基準価額の推移

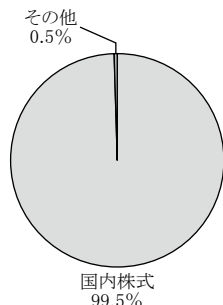


#### ○組入上位10銘柄

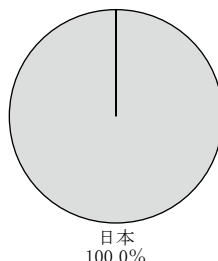
(組入銘柄数:46銘柄)

	銘柄名	業種	市場	比率
1	三協立山	金属製品	東京一部	4.5%
2	興銀リース	その他金融業	東京一部	3.7%
3	住友重機械工業	機械	東京一部	3.3%
4	JSR	化学	東京一部	3.2%
5	住友不動産販売	不動産業	東京一部	3.2%
6	アドバンテスト	電気機器	東京一部	3.0%
7	住友理工	ゴム製品	東京一部	3.0%
8	東芝テック	電気機器	東京一部	2.8%
9	ローム	電気機器	東京一部	2.8%
10	東京TYフィナンシャルグループ	銀行業	東京一部	2.8%

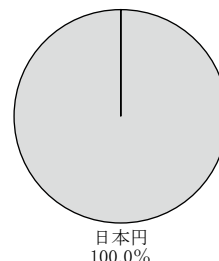
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2016年7月27日現在のものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## ○1万口当たりの費用明細

項目	当期 2015/7/28～ 2016/7/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	22円 (22)	0.180% (0.180)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、12,200円です。 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	22	0.180	

(注1) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 指数に関して

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。